

1. 活動報告（事務局 記）

—5月1日（日）会員11名が参加し、ヨケジの溝上げ、観察路周辺の草刈り、水車横の陥没箇所修復、キショウブの除去、除去草の運搬・焼却の作業を実施しました。

—5月18日（日）辻野会員計画の臨時整備作業として、草原北側市道両サイドと土手・ため池散策道の草刈り、自走草刈り機にて草原ゾーンの草刈り、草原ゾーン竹材・刈った草の焼却を行いました。参加者は、原田会長、渡辺会員、辻野会員、新支援センター西村女史の5名でした。

—5月21日（土）天気も良く、少し暑いくらいでしたが、野鳥観察を行いました。ビオトープからふれあいセンター経由で、厚東川の周りを観察しました。見たり、声を聞いた野鳥は、21種でした。参加者は、親子自然観察隊（親13名、子18名）、山大学生4名、きらら浜自然観察公園の繁里講師、会員13名でした。観察前に役員で、湿地帯の浚渫の見積、田の小野入り口の看板の修復、子猿の対応の打ち合わせをしました。

2. 今後の予定（事務局 記）

◎行 事

—5月29日（日）維持活動（溝あげ・草刈り）、田植準備（代掻き・整地）

—6月5日（日）稲作体験・田植え（親子自然観察隊・二俣瀬子ども会を招聘）

—6月19日（日）維持活動（草刈り）

3. 来訪者の声

今回はありません。

4. 会員の声 「 」 （ 記 ）

今回はありません。

5. 親子自然観察隊 【 野鳥観察 】 (管 哲郎 記)

4月に新しい隊員3家族が追加加入され、子供18名、親13名の参加と山口大学より4名の臨時参加となりました。講師には「きらら浜自然観察公園」のチーフレンジャー1名をお呼びし野鳥の案内をしていただきました。

今日は出発前に野鳥の鳴き声から鳥の種類を確認する方法を教えてくださいました。そのために出発時間が少し遅れ、東屋に帰り着いたのが11時半となり、大急ぎで「鳥合わせ」を行い、何とか12時までに行事を終了しました。

お天気は良かったのですが、見られた鳥の種類は少なく、21種類にとどまりましたが、ビオトープ駐車場の近くで、”キジの卵“9個を子供たちが発見し、思わぬ観察もできました。

(確認された鳥類) ~21種類~

カルガモ、キジ(卵)、ドバト、ダイサギ、ミサゴ、トビ、コゲラ、サンショウクイ、ヒバリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、キビタキ、スズメ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ。



野鳥の説明



観察に出発



野鳥の観察状況



キジの卵

6. ビオトープ関連：「山口県の昆虫たち」 (管 哲郎 記)

(75) ウラギンシジミ *Curetis acuta* シジミチョウ科

翅を閉じると銀白色ですが、開くとオスは黒褐色に鮮やかな朱色、メスは黒褐色に白い斑紋が特徴です。夏と秋の2回発生しますが、秋に羽化した個体は成虫で越冬します。越冬は常緑広葉樹の葉裏にとりついて留まり春を待ちます。

成虫は果実や獣糞や腐った果実、動物の死骸などで吸水しますし、地面での吸水も見られますが、花での吸蜜はしないようです。しかし、幼虫はクズの花によく見られます。

体の色はクズの花に擬態しているようで、緑色に紫色を混ぜて配色しており、きれいな色をした幼虫です。



ウラギンシジミ オス



ウラギンシジミ メス



交尾 体



ウラギンシジミ幼虫 🐛



7. 会よりの連絡事項

- 1) 6月は田植えです。準備もありますのでご協力をお願いします。

8. 編集後記 (大野 靖子 記)

新年度が始まりました。周南の福川子どもクラブは令和2年度にオンラインで1回実施し、令和3年度は2回現地で活動を行いました。令和4年度は4月に1度開催したいと考えておりましたが、感染者数が減らず、結局様子を見るということで断念しました。なかなか思うようにいかず、一度仕切り直しをしたいところです。里山ビオトープ二俣瀬の自然観察隊に良い例として学ばせて頂きたいと思います。